

会報

冬
No.144

2009.1

社団法人北海道電業協会



目 次

年頭のごあいさつ
北海道開発局 営繕部長 林 理... 1

平成21年の新春を迎えて
(社)北海道電業協会会長 吉 川 照 一... 2

法人職務執行者就任ご挨拶
サンエス電気通信(株)札幌支店
 支店長 乾 好 人... 3

.....サンワコムシスエンジニアリング(株)北海道支店
 支店長 森 智 嗣... 3

新春特集

“うっかり八兵衛”の人生ドラマ..... 4～9

人生は「出会い、ふれあい、支えあい」
 高橋 元太郎氏と語る

平成20年度経営者懇談会・経営セミナー.....10

平成20年度経営者懇談会.....11

平成20年度登録電気工事基幹技能者認定講習会.....12

平成20年度北海道の建築工事に係る合同研修会.....13

平成20年度安全衛生パトロール実施報告.....14～15

ーシリーズー 1/212だより

・「タンチョウの舞う美しい村」鶴居村
鶴居村長 日野浦 正 志...16～17

・「母なる川をふるさとに」むかわ町
むかわ町長 山 口 憲 造...18～19

分離発注訪問記.....20

現場からこんにちは.....21

厚生委員会行事報告 ボウリング部会.....22

歌唱部会.....23

ゴルフ部会.....24

業界だより、理事会・三役会・委員会報告.....25

事務局日誌.....27

編集後記



年頭のごあいさつ

北海道開発局

はやし
営繕部長 林

ただし
理

新春にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。
皆様には、国土交通省北海道開発局の官庁営繕事業や各施策の推進に対し、ご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

昨年は環境・気候変動問題を最重要課題とした北海道洞爺湖サミットが開催され、当営繕部においても国際メディアセンターの施設整備を行いました。本事業においては、地球環境負荷低減を最大限考慮した施設整備を行い、大きな成果をあげましたが、引き続き地球環境負荷低減対策は、私たちの重要な課題として取り組みを強化していかねばなりません。

官庁施設の整備に当たっては、「京都議定書目標達成計画」や「政府の行動計画」を踏まえ、官庁施設の環境保全に関する基準に基づき、環境負荷低減効果の高いグリーン庁舎の整備を推進するとともに、災害応急対策活動を行う防災拠点施設の災害対応機能の確保に努めてまいります。また、増大する既存施設の有効活用を推進し、耐震性能はもとより社会的な機能の劣化にも対応した模様替、増築等により、新築同様の機能確保を図ります。

北海道開発局営繕部においては、太陽光発電の採用など地球環境に配慮したグリーン庁舎の整備を進めると共に、温室効果ガスの排出削減に寄与するため、庁舎の適切な保全・管理、運用について関係官庁や各施設の管理者に対して保全指導と技術支援を行ってまいります。また、災害応急対

策活動に必要な官庁施設等については、構造体のみならず設備、非構造も含めた総合的な耐震安全性を確保した防災拠点施設の整備を推進します。

既存施設については、老朽化や狭隘化などを適切に把握し、一定地域の中で群としての施設の有効活用を図るため、ストックマネジメント手法などを取り入れながら、利用者の利便性向上を目指して、効率的な整備を進めてまいります。

具体的には、昨年着工いたしました小樽地方合同庁舎、新規の八雲地方合同庁舎等の整備と、室蘭、稚内及び根室地方合同庁舎の太陽光発電装置の設置、函館地方合同庁舎での天然ガス利用などの改修事業を進めてまいります。工事の発注に当たっては、品質確保の観点から、施工体制確認型総合評価落札方式の採用など調達方式の多様化と、低価格入札への対応として特別重点調査などを行ってまいります。

環境対策や災害対策など、施設整備に求められる機能が確実に発揮されるために、建築設備の担う役割には大変大きなものがあります。そして、それを可能とする信頼される技術力が求められております。

今後とも、みなさまの一層のご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

経済情勢が厳しい中ではありますが、今年が、北海道の将来にとって希望の年となりますようご祈念いたしますとともに、皆様のさらなるご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



平成21年の新春を迎えて

社団法人 北海道電業協会

会長 吉川 照一

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、何かと厳しい時代環境下ではありますが、新たな希望を胸にご家族お揃いで新春を迎えられたことと心からお慶びを申し上げます。

昨年をかえりみますと、原油高のあおりを受けた各種資材の高騰、米国に端を発した世界的な金融危機とその影響による世界同時不況様相、相次ぐ「食」に関しての偽装事件等、大きな問題が多発した1年ではなかったかと考えるところです。

本道では、明るい材料が少ない中ではありますが、世界の主要国首脳が集まり「北海道洞爺湖サミット」が開催されたこと、台風、地震等による大きな自然災害の発生がなかったこと等が話題にのぼるところと思います。

さて、最近の全国の景気動向を見ますと、円高基調が続く中で主要輸出産業を中心に大きな影響を受けており、国内景気としては弱含みで推移しているものと判断されております。

一方、本道では公共事業の縮減に加えて今まで好調だった観光にも陰りを見せている状況であり、本州との地域格差が一層顕著となっており、特に建設業界を巡る状況は、全国他地区と違い官公需と併せ民需においても厳しい状況であり、今後も引き続くものと予想されることです。

我々電設工事業界としては、今後は建設市場自体が都市環境の保全も含めたりニューラル分野等の新分野への重点的移行が予想され、これらも含め変化の早い時代に対応できるよう新技術の開

発、人材の育成等を図るとともに、従前にも増して品質確保と経営基盤の強化が重要と認識しております。

当協会としては、このような経営環境の下、今後とも「業界の地位向上のため、社会ルールに則り適正で合理的な競争の展開」、「明確なコストで品質を確保する分離発注と支援するCM方式の導入推進」、「電設技術向上のため人材の確保・育成に努めること」等をスローガンとして時代に適合した事業展開を図る所存であり、我々業界は後ろ向きにならず、変革の時代にいることを認識し皆で知恵を出し合い、協会の健全な発展と会員の皆様の繁栄につながるよう、一致協力、努力することが一番重要と考えております。

又この数年、建設業を巡って様々な不祥事が発生しておりますが、これらについては事業活動上の公正さを求める強い社会的要請に鑑み、我々電設工事業界においても襟を正し企業の存立、発展をかけ法令順守の徹底等を目的とした「会員行動目標」を策定したところであり、当協会としても的確な対応が重要と認識しております。

我々は日ごろ培ってきた会員相互の信頼の下、北海道のライフラインの一翼を担う誇りと責任を自覚し、将来を見据え知恵を絞って諸課題に挑戦しようではありませんか。

年頭に当たり、会員各社の益々のご繁栄と、ご家族とともども皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げますとともに、協会への変わらぬご支援、ご協力をお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。

法人職務執行者就任ご挨拶



サンエス電気通信株式会社
札幌支店 支店長

乾 好 人

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと

お慶び申し上げます。

この度、前支店長 高橋昌宏の後任として9月1日付で札幌支店長に就任いたしました乾好人でございます。平素は、当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。若輩者ではありますが、皆様のご指導、ご鞭撻を頂きながら協会の発展と業界の繁栄に微力ながら最善を尽くす所存でございますので、前任者同様よろしく申し上げます。

さて、世界規模で広がるこの金融危機は、建設

業界を取り巻く経営環境をますます厳しくさせる状況にあります。このような中、京都議定書の第一約束期間開始や、北海道洞爺湖サミットの開催など、本年は地球環境問題、特に地球温暖化対策が大きくクローズアップされています。

当社も札幌支店においては、新エネルギー事業、環境対策事業に主力をおいて現在展開しておりますが、新エネルギー・環境対策への関心は確実に高まっており、今後も率先して取り組みながら地域社会に貢献できるよう努めて参ります。

また、イノベーションの視点に立ち、新しい技術を習得すると共に、新たな発想の提案力も向上させながら、社会的に大きな変化を起こせるような、将来に期待が持てるような業界へとしなければならぬと考えております。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。



サンワコムシスエンジニアリング (株)北海道支店 支店長

森 智 嗣

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、前支店長 木ノ内武美の後任として10月1日付で北海道支店長に就任いたしました森 智嗣でございます。

平素より電業協会並びに会員の皆様には格別のご高配を賜り心から厚く御礼申し上げます。若輩者ではありますが、会員の皆様のご指導を頂きながら、業界の発展に微力ながら最善を尽くす所存でありますので前任者同様宜しく願いいたします。この機会をお借りしまして、弊社の紹介をさせていただきます。弊社は昭和22年9月に電気工事・電気通信工事の総合会社として三和電気興業(株)を創立し昭和43年7月大榮通信工業(株)と合併、三和

大榮電気興業(株)と商号変更、平成8年4月(株)三和エレクトクに商号変更、平成15年9月弊社、日本コムシス株式会社及び東日本システム建設株式会社の3社共同の株式移転による純粋持株会社『コムシスホールディングス株式会社』を設立その後、平成17年4月コムシスホールディングス傘下の事業再編により、日本コムシス(株)のキャリア系事業と旧(株)三和エレクトクの事業を統合、商号をサンワコムシスエンジニアリング(株)に変更して、ここ北海道においても新たなスタートを切り現在に至っております。キャリア系事業、メーカー・ベンダー関連事業、ICT事業及び通信・電気等コンストラクション事業を展開しております。

今、我々を取り巻く環境は大変厳しい状況ではありますが、夢をもって協会の発展に努力してまいりる所存でありますので、今後ともよろしく願いいたします。最後になりますが当協会の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念申し上げます、新任のご挨拶とさせていただきます。

新 春 特 集

“うっかり八兵衛”の人生ドラマ

人生は「出会い、ふれあい、支えあい」
高橋元太郎氏と語る

- 日 時 平成20年7月28日(月)15時～16時30分
- 場 所 札幌パークホテル
- 出席者 水戸黄門のうっかり八兵衛役 高橋元太郎さん
電業協会 中野副会長 橋本広報委員長
加藤広報副委員長 嶋津広報副委員長 佐々木広報委員



プロフィール

- 1941年 東京都生まれ
- 1961年 “スリーファンキーズ”のメンバーとしてデビュー「シャボン玉ホリデー」「夢で逢いましょう」などの歌謡番組に多数出演。
- 1962年 「ソロ歌手」として独立。
- 1969年 「大岡越前」すっとびの辰三、「水戸黄門」うっかり八兵衛にレギュラー出演。以降、俳優として活躍し現在に至る。



(中野副会長)



本日は大変お忙しい中お越し下さいましてありがとうございます。

高橋元太郎さんはスリーファンキーズの一員として鮮烈にデビューされ、その後ギネスブックにも載るほどの長寿番組「水戸黄門」のうっかり八兵衛役としてご出演され、現在もテレビ出演や講演等幅広い活動をされており、そのバイタリティーに感動しております。

テレビで拝見していますと、お元気でいつも微笑みを絶やさない印象にお見受けしていますが、人生観が役の上でも生かされているような気がします。秘訣は何処に有るのでしょうか。

(高橋元太郎さん)

人生は「出会いに始まり、出会いに終わる」と思っています。

人との出会いだけではなく、いやなこと、つらいこと、苦しいことや不満など色々なものと出会ったとき私は感動を覚えます。

感動とは「心を動かす」ことです。そうすると

生きていることへの感謝の気持ちが出て「出会い・感動、感動に感謝！」ありがとうという気持ちを常にもっています。

人間の素晴らしさは、一つの出来事に対して色々な見方ができる事です。良いように物事を考えるプラス思考、そう考えた方が明るくなるし、自然にありがとうという気持ちになります。それが「私の心情」です。

(橋本委員長)



北海道に住んでいると北海道の良さが見えないと思うのですが、元太郎さんから見た北海道の印象をお聞かせ下さい。

(高橋元太郎さん)

良さが見えないのではなく、見えているのに、不満のほうが出ないのではないですか。

拓銀がつぶれたとか、日本一景気が悪いだとか。そういうことを言ってもなんのプラスにはならないと思います。

私から見た北海道は素晴らしい。日本中でもこんなに素晴らしい所はないと思います。それを北海道の人たちは誇りに思っています。

(加藤副委員長)

水戸黄門に31年間で868回出演され、第一位のレギュラー出演ですね。長い間、数多く出演されましたが、ご苦労話などお聞かせ願えませんか。

(高橋元太郎さん)

苦労とか悩みは誰でもありますが、私は良いように物事を考えます。

京都での撮影が始まった頃に子供が生まれ、会いたい盛りでしたが、私が寂しい思いをしても東京にいる家族が人並みの暮らしをできるならば、それでいいと思いました。家に帰ったときの喜びは倍以上に湧いて来るじゃないかと思っていました。

私は「大岡越前」に出演する前は歌手で、ドラマにも少し出演していましたが本格的に時代劇はやっていませんでした。初めて「大岡越前」の目明し役に出演して、京都の撮影所に行ったときに、主役の加藤剛さんが一人で化粧鞆を持ち、椅子を持ってスタジオのセットの中に入ってきました。その姿を見て、今までいた歌の世界では、20代の私の回りにマネージャーがいてアシスタントマネージャー、付き人に運転手がいました。どこに行くにもグリーン車に乗り、一流のホテルに泊まり、切符も買わない、何もなかったんですね。加藤さんのようなスターが、たった一人で付き人も付けないのを見て、これはいけない、こんな世界があるのかと思い、それ以来、付き人を付けるのをやめました。

私が演じた「大岡越前」で明るいキャラクターが生まれましたので、「水戸黄門」で「うっかり八兵衛」の役を作っていただきました。

初代水戸黄門の東野英治郎先生、札幌出身の中谷一郎さんと一緒に仕事をするようになりました。この番組に出演される方々に出会ったことで、俳優としても人間としても楽に生きられるよ

うになったし、今の私のキャラクターができたのではないかと思います。

(加藤副委員長)



人間性の良い方々の出会い、又それを感じることは大切ですね。

(高橋元太郎さん)

そういう人間性は家族、家庭なのです。人間の一番初めの出会いはこの世に生まれたときに会おうお父さん、お母さん、おじいちゃんおばあちゃん、兄弟、家族との出会いです。その人達の心が温かくなければ、いくら頭が良くても、何が良くても、良い世の中を作れないのです。政治をやるにも経済をやるにも人間がやることですから。その人間の基本となるものが家族に戻ると思いません。その人たちの思いやり、優しさが温かくなければ良い世の中はできません。私達も100年、200年も昔からつながって生まれてきています。先祖代々、人の生き方や優しさだとか、いろいろなことを教えられ、伝えられたのです。

だから私は「教育」ではなく「伝育」ってよく言います。「伝え育てる」です。

(島津副委員長)



昨今、一般家庭では親子関係が希薄になり「伝育」というものがあまりにもなされていないのが現状だと思いますが、何かお考えはありますか。

(高橋元太郎さん)

ある日、岡山にある国宝のしづなに閑谷学校に行ったところ、戦時中に校長先生をやっていた方が中学生に「し・のたまわく…」と論語を教えていまし

た。しばらく見学していると、板の間に『盆ゴザ』を敷いて20分ほど正座をしていたのですね。そして終わって学校から出るときに、誰ひとりとして敷居を踏まなかったのです。

板の間の正座といい、敷居を踏まなかったことといい、立派なものだと思いました。

古い建物や先人に対する尊敬の念が自然と出ていたのだと思います。

だから、あれやこれやと教えるのではなく、考えさせて心の中に入ることが大事なのです。私は『修身』をもう一度教えた方が良く思っております

(加藤副委員長)

歴代の黄門様で印象に残っている方はいらっしゃいますか。

(高橋元太郎さん)

東野英治郎先生ですね。最初の頃は、水戸黄門の八兵衛役を演じる際にNGを出しちゃいけない、みんなに迷惑を掛けちゃいけない、負けちゃいけない、ばかにされちゃいけないと思って、ただただ一生懸命全力で八兵衛役を演じていました。

そのときに東野先生は私の心の中、気持ちを全部見抜いていたのですね。

ある日、私が自分の出番が終わって東野先生のそばに行ったら、「元ちゃん、沢山の俳優さんが一生懸命に俳優の勉強をしている。一生懸命努力すれば三角形のてっぺん頂上に立つことができるだろう。でも、てっぺんより上に行くにはその人の人柄だよ。どんな役柄を演じても、演じている人柄が出れば、誰にも負けなすばらしいものができるのだよ」と、おっしゃって下さいました。

そうだ自分を出せばいいのかと思って肩の力がスーッと抜けて…「ご隠居！腹減ったあー！」と自然に出たのです。今までは背伸びしていたのです。はじめて全国みなさんに「八兵衛さんお腹がすいたの？お団子食べたいの？」って言われるようになって、八兵衛が認知されたのだと思いま

す。

(加藤副委員長)

東野英治郎さんはどのような方でしたか。

(高橋元太郎さん)

東野先生は本来、水戸黄門をやる役者さんではないのです。背は低いし、顔はガタガタだし、悪役を演じていた泥臭い俳優さんですよ。かつての水戸黄門は月形龍之介さんや中村鴈治郎さんなどの二枚目の方が演じていました。

そんな東野先生にオファーしたプロデューサーもすごいが、東野先生は「水戸黄門になってもよいが、私が水戸黄門をやるならば、お百姓さんが田んぼで泥だらけになって田植えをしているとき、いっしょに田植えをするような黄門様ならやるよ」とおっしゃいました。

プロデューサーも「私もそれを狙っていました。」ということでスタートしたのです。

東野先生は「水戸黄門、水戸光圀という名前、位は世の中が決めた位だろう、人間裸になってしまえば誰でもいっしょだろう」とも言っていました。

東野先生は水戸光圀を演じたのではなくて、ただの人間を演じたのです。その後に水戸黄門、水戸光圀という名前がついてきただけなのです。それに全国の皆さんの共感を得たのだと思います。

(橋本委員長)

やっぱり東野さんの黄門様は印象深いですね！

(高橋元太郎さん)

東野先生も、自分を出す事によって、あの黄門様になったし、中谷一郎さんも中谷さんの人柄が出てはじめて風車の矢七になったのでないでしょう



か。

(佐々木委員)



私は大岡越前や水戸黄門の番組が非常に好きで拝見していますが、感じることは落語の精神がかなり入っていて、人情話は日本人の心につながる部分があるのではと思うのですが？

(高橋元太郎さん)

落語の話から脚本にしているものはたくさんあります。日本人の本質というのは、やっぱり「思いやり」や「義理・人情」だとか「和を持って尊し」になるのです。これは、ズーッと日本人の血の中に入っているのです。

「思いやり」だとか「いたわり」という言葉が「ボランティア」という言葉なってしまうと、全く違うものになってしまうと思います。

私は「ボランティア」という言葉があまり好きではありません。身障者の方のお手伝いをした等よく聞きますが、自分が「気持ちがいいからやっているのでしょ？」本当は「あなたがしてもらっているのですよ！」だから私はいつも「させていたでている」と言う言葉を使います。

今の世の中は何か言葉や型にはまっているのだと思います。だからもっと「軽く」「いい加減」などという言葉が悪いですが、「良い加減」というと断然変わってくるのですよ。物事の取り方で変わるのです。

(佐々木委員)

若い世代にはあまり時代劇は見られていないようですが、もっと若い人たちが見られるような工夫が大事だと思いますが？

(高橋元太郎さん)

そうやって意識すると「形」が変わってくるのです。

(佐々木委員)

石坂浩二さんが黄門様の時に変わったのですね？

(高橋元太郎さん)

新しいプロデューサーに替わったとき、自分のイメージでやりたいと言って、私たちレギュラーも全員かわりました。

石坂さんの黄門様は31年間、国民の人たちといっしょに創ってきた水戸黄門じゃなくて、ほぼ歴史に基づいたように水戸光圀を演じたのです。でも視聴者の皆様は「あの水戸黄門は違うよ」「黄門様じゃない」「八兵衛も居ないじゃないか」ということで、2年で終わってしまいました。

一度、落ち目になると怖いですよ。どんな仕事でも、どんなように大衆が望んでいるのか見極める事が大切です。新しいものをやる時、方向性を間違えると、誰もついてきません。

(島津副委員長)

高橋さんは、現在講演活動をされていますがそのきっかけは何ですか？

(高橋元太郎さん)

それは自分の力だけで生きているのではなく、周りのいろんな人の力で生きているのと言うのが基本にあります。本を書かしてもらいましたが、最初は本を書く身分ではないので断りましたが、出版社の方に「31年間水戸黄門をやって何か感じるものがあるはずだから書いて下さい」と言われ書きました。それがきっかけで講演の話が来ました。と同時に、今まで視聴者のみなさんは、私をテレビで見て下さっていますが、実物は見えていない訳です。31年間水戸黄門に出させていただき、67歳になってもこの世界にいられるのは、みなさんのおかげで、お礼参りという気持ちでやらせていただいています。

ある地方で、お父さんが軽トラックで真っ暗な夜道を、息子さん、娘さんを会場に連れてきた光景を見たことがあります。

その時間だけは息子達とお父さんの間は「八兵衛を見せてやりたい」の一念で来てくれるのだと思います。少しはお手伝いをしているのではないかなと思います。

講演にはお年寄りしか来ませんが、「八兵衛みたいないい男に出会ったのだから、都会にいる息子や娘に『昨日、八兵衛にあったのだよ、いい男だったよ』と電話でお話しできるでしょと『だから出会いというのはすばらしいのだよ』と話の種になるのではないかなと思って講演をしています。

だから講演しても楽なのです。地方に行くと「講師の高橋元太郎先生です」と紹介されますが、「八兵衛です」って言うのです。そうするとみなさん「ワーッ」と喜んで下さいます。

「難しい話はしないので気軽に聞いて下さい。

八兵衛ですから」って言うような話から少しでもみなさんの人生が明るくなるのであれば、お手伝いをさせてもらっているのかなと軽い気持ちでやっています。たまたま俳優の仕事をしているから、こうやって高橋元太郎を呼んでくれるのであって私が俳優の仕事をしていなければ、ただの高齢者ですからね。

(中野副会長)

お話しがおもしろいので、あっという間に予定の時刻を過ぎてしまいました。「感動と感謝、その心と人柄は家族の伝育から」というお話しを承り、誠にありがとうございました。

高橋さんにおかれましても、これから益々お元気で活躍されます事をご祈念申し上げます。

ほんとうにありがとうございました。



平成20年度経営者懇談・経営セミナー



平成20年11月18日(火)午後1時15分からホテルポールスター札幌において「平成20年度経営者懇談会セミナー」を開催し、会員代表者など約80名が参加した。

はじめに、吉川会長から最近の当業界を取り巻く経営環境について「原油高の影響による各種資材の高騰、アメリカの金融不安による株式市場の低迷等により、我々電設工事業界でも厳しい状況が継続している。特に本道では全国と比べても地域格差、業種格差が一層進んでいるところであり、極めて厳しい状況にあるが、電気は国民生活や、企業活動等に直結するライフラインとなっており業界として重要な社会的責任を担っていることを認識しなければならない。そのためにも、“法令を遵守”し、公正かつ適正な運営活動が続けるのが大変重要な事である」と挨拶された。

経営セミナーでは、建設経営コンサルタントで

アサンテ経営労務事務所代表の手島伸夫氏がカルロス・ゴーン日産自動車社長の経営手法を基にした「建設業の底力を引き出すコーチング」を講演された。

セミナーのなかで手島氏は、経営のポイントとして「発注者・建物の利用者、組織内の人間、自分自身に“成功しそうだなと思わせること”が成功への近道である」と力説。さらに、コーチングとは一番いい言葉を部下に言わせて、その実力を引き出す技術が重要であると説明。部下のやる気を高めるためには、①部下への期待を伝え→②部下に自分から小さな挑戦をさせる→③本人が経験から学び考える習慣を身に付けさせる→④日常業務の中でコミュニケーションを取り→⑤上司と部下による共有・共感を行う。という手順を示し、現場のやる気を引き出すコーチング手法を指導された。



吉川会長 挨拶



熱心に講演された 手島講師

平成20年度 経営者懇談会



経営セミナーに引き続き「平成20年度経営者懇談会」を、会員代表者および地区代表者など約55名が参加して開催した。

本懇談会については、当協会を取り巻く諸問題、協会事業に関する意見や提言を頂き、今後の協会事業に反映し、更に会員代表者相互の意見交換の場として開催している。

はじめに、吉川会長から「我々を取り巻く経営環境は極めて厳しくなっている。当協会としてはこのような環境下であるが、品質の確保、価格の透明化により分離発注の一層の推進、適正かつ合理的受注等をモットーに、変革の時代に入っていることを認識して対応する事が重要である。又、一連の談合事件等により我々建設関連業界に向けて逆風が吹いているのも事実であり、この信頼回復に努める必要がある。このような中で、電気は国民生活に直結するライフラインとなっており業界として重要な社会的責任を担っている。日本電設工業協会が一昨年作成した、“会員行動目標”を事業活動の指針と考え遵守していただきたい」と挨拶された。

つづいて、広島専務理事の司会で議事進行となった。(議事次第参照のとおり)

【平成20年度経営者懇談会次第】

1. 平成20年度会員大会決議事項等について
2. 北海道開発局営繕部との意見交換会開催概要
3. 平成21年度からの会費低減措置の検討状況など
4. 各地区協会からの近況報告
5. 協会事業および関係官公庁に対する要望事項について（フリートークング）
6. その他

懇談会終了後は、交流会となり会員相互和やかに親睦を図った。



懇親会で乾杯挨拶 中野副会長



地区協会からの近況報告



閉会挨拶 山口副会長

平成20年度登録電気工事基幹技能者認定講習会



平成20年11月1日(土)～2日(日)の2日間、北海道電気会館において(社)日本電設工業協会北海道支部主催による登録電気工事基幹技能者認定講習会を開催した。

今年度の認定講習から終了試験合格者に対し、経営事項審査のなかの技術力を評価するZ評点に、3点を与えることとし2009年度から適用される。

国土交通省では、建設生産システムの中で基幹技能者を中核的な役割を担う主任技術者と位置付けるため、高度な作業管理能力を有することを制度・運用面で明確な形で担保することが必要とし、制度見直し後、初めての講習会に全道から電気工事従事者46名が受講した。

最初に当協会技術安全委員会の工藤委員長から、電気工事基幹技能者の職務について説明があり「建設現場での作業環境は短工期、大型複合化してきており、安全で高品質な建設物をお客様に引き渡すことが社会の要求となっている。作業管理や提案のできる高い能力を持った基幹技能者の



工藤委員長 挨拶

役割は重要なので、この講習会を有意義なものにしていただきたい」と挨拶された。

この2日間は、全国一斉に認定講習会が行われ、当協会の認定講習試験委員が講師となり、電気工事基幹技能者の役割や基礎知識など幅広い内容を講義した。受講者は資格取得に向け真剣に取り組む、特に講師からの重要ポイントについては、メモを取りながら熱心に耳を傾けていた。

2日目の最後に、認定終了考査(試験)が実施された。合格発表は平成21年1月の予定。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (社)北海道電業協会技術安全委員会
委員長 工藤 洋
(株)きんでん北海道支社長)
2. 建設技能者の労働環境
電気工事基幹技能者の在り方等
成田 廣 芳 氏
(北海電気工事(株)電設工事部次長)
3. OJT教育 澤田 博 氏
(三共電気工業(株)常務取締役工務部長)
4. 関係法規・施工管理・事務管理
内山 優 氏
(株)北弘電社技術部 担当部長)
5. 工程管理・資材管理・原価管理
吉崎 俊明 氏
(拓北電業(株)取締役営業推進部長)
6. 品質管理・安全管理・労務管理
外岡 甫 氏
(協信電気工業(株)常務取締役)
7. 終了試験

平成20年度 北海道の建築工事に係る合同研修会



当協会と北海道電気工事業工業組合、(社)北海道空調衛生工事業協会、北海道管工事業協同組合連合会との4団体共催で、平成20年10月20日(月)北海道電気会館において、北海道建設部建築局幹部の方々のご出席を頂き「平成20年度北海道の建築工事に係る合同研修会」を開催した。

この研修会は全道から4団体役員等、約100名が出席した。

最初に主催者を代表して、当協会の吉川会長から、設備業界をめぐる経営環境の厳しさを訴え、その対応策として、自らの経営革新など公正かつ適正な事業活動の推進が重要と認識し事業活動を行っている現状を説明。

続いて、須藤参事から「北海道においては厳しい財政状況が今後も続くと思われる。来年度の設備関係予算は、本年度同様、改修工事が中心となると思うが、道営住宅や小樽での高等看護学校新築があり、本年度より上回る予定。これまで通り分離発注の継続に勤めるとともに、FMを用いた保全業務を進めていく」との考えを述べられた。

引き続き、担当主幹から下記の研修内容で道の

取り組み状況など、資料に基づき説明された。

研修後の質疑応答では、業界側からあらかじめ提出された質問・要望について同局は、分離発注の継続や防災協定の締結などについて前向きな姿勢を示していただいた。

研修会次第

1. 開会挨拶 (社)北海道電業協会
会長 吉川 照一
2. ご挨拶 北海道建設部建築局建築整備課
参事 須藤 公之 様
3. 研修内容
 - (1)入札制度の改正等について
計画管理課管理契約G 主査 木村 剛 様
 - (2)工事施工成績に係わる創意工夫について
建築整備課電気設備G 主幹 中村 仁 様
 - (3)総合評価方式による発注工事の取組みについて
建築整備課機械設備G 主幹 大島 克博 様
 - (4)単品スライド条項の運用について
建築整備課機械設備G 主査 西田 正司 様
 - (5)質疑応答
4. 閉会挨拶 (社)北海道空調衛生工事業協会
会長 池田 薫



ご挨拶 須藤参事



北海道建設部建築局幹部の方々

安全衛生パトロール実施報告



平成20年10月28日(火)技術安全委員会委員による安全パトロールを実施した。

今回は、札幌市が発注した創成川通アンダーパス連続化工事現場で、当協会の会議室に集合し、はじめに工藤技術安全委員長から「我々の業界は厳しい状況が続いているが、安全対策にはあらゆる状況を想定して取り組んで欲しい」と挨拶された。続いて北電力設備工事(株)の高田現場代理人と三共電気工業(株)の林現場代理人から、それぞれ工事内容の概要説明を受けた後「点検前ミーティング」を行いパトロール現場へ向かった。

札幌市建設局土木部から大河原利広電気設備担当係長が同行された。

現場は、創成川通の南5条から北3条までの延長約1,100mで平成18年12月に着工して平成21年3月にトンネル供用開始予定で作業が進められていた。主要設備は、受電容量：1100KVA、受電方式：6.6KV、2回線受電(常用・予備)、トンネル照明584台、ロードヒーティング：4909㎡1227Kw、CCTVカメラ：14台、非常電話：14台、火災報知器：72台等となっている。

巡視経路は中央非難口から入場して、地下2階部分にある電気室に入り受変電設備を点検。続いて避難通路を通りながら南行き、北行き両方のアンダーパスを歩き、当日作業中の幹線結線、機器取付け等を点検表に基き細かくチェックした。

現場の進捗状況は10月末現在で、幹線ケーブル延長などの受変電、幹線設備およびロードヒーティング設備で95%、トンネル照明設備で90%と高く、11月中旬の受電に向けて最終仕上げの最中であつた。

高田現場代理人は「これから年末年始を控え完

成の3月まで無事故・無災害で乗り切るように全員で一致協力して頑張る」と力強く語った。

午後から協会会議室において「安全パトロール点検表」のチェック項目の整理を行い全体総評が行われた。

内容は、概ね良好であると評価し、最後に工藤委員長から「現場の中はきちんと整理されており、全体的に良好であつた。供用開始まで安全には万全を期して取り組んで欲しい」と総評された。

【実施メンバー】

技術安全	委員長	工藤	洋(きんでん)
	副委員長	澤田	博(三共電気)
	委員	内山	優(北弘電社)
		〃	外岡 甫(協信電気)
		〃	吉崎 俊明(拓北電業)
		〃	中村 好宏(旭日電気)
		〃	太田 英男(旭日電気)

(同行) 札幌市建設局土木部

創成・駅前設備担当課電気設備担当係長
大河原 利広様



小樽後志電設業協会との合同安全衛生パトロール実施報告



平成20年11月19日(水)小樽後志電設業協会と当協会の技術安全委員による合同安全パトロールを実施した。

今回の現場は小樽地方合同庁舎で、現場事務所の会議室に両協会関係者が集合し、はじめに小樽後志電設業協会の岩城会長から「我々電気設備工事業界を取り巻く環境は一段と厳しくなっている状況下で、安全への取り組みは重要な課題である。いったん事故を起こすと大きな影響を及ぼす事になるので、そのためにも本日の安全パトロールを有意義なものにしていただきたい」と挨拶された。続いて、北海電気工事(株)の蠣崎現場代理人から、工事内容の概要説明を受けた後「点検前ミーティング」を行い、パトロール現場へ向かった。

この施設は、既存庁舎の老朽化に伴う機能低下の現状を考慮し、港湾地域に分散する庁舎機能の集約化により、利用者の利便性向上、執務環境の改善、防災拠点としての安全性を確保していくも

ので、平成20年3月に着工し、完成は平成22年3月の予定。庁舎の規模は鉄骨鉄筋コンクリート造6階建塔屋1階、延べ面積11.827㎡で、進められている。

庁舎1階のエントランスロビーと一体になった海辺空間を意識した食堂から2階事務所などの施設を見てまわり、墜落防止対策や開口部の危険な箇所の点検、掲示内容が十分に行われているか等を項目ごとにチェックした。

蠣崎現場代理人は「これから完成まで長期間になるが、無事故・無災害で乗り切るように頑張る」と力強く語った。

午後から、「安全パトロール点検表」のチェック項目の整理を行い全体総評が行われた。

内容は、概ね良好であると評価し、最後に岩城会長から「現場の中は特に指摘する事項はなく、全体的に良好であった。これから厳しい季節を迎えるので、冬季間対策を万全にして無事故・無災害を継続して欲しい」と総評された。

【実施メンバー】

○北海道電業協会技術安全委員会

副委員長	澤田 博 (三共電気)
〃	松田 康明 (日本電設)
委員	工藤 保 (東光電気)
	外岡 甫 (協信電気)
	吉崎 俊明 (拓北電業)
	成田 廣芳 (北海電気工事)
事務局	枝並 秀喜 (電業協会)

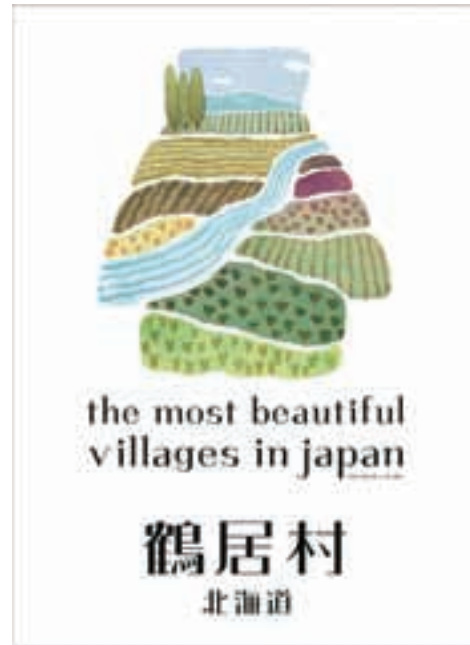
○小樽後志電設業協会

会長	岩城 直人 (富士電気商会)
副会長	内山 高茂 (内山電業社)
〃	木村 信一 (大江電気)
理事	花和 嘉貴 (北海電気)
事務局	小林 正始 (富士電気商会)



「タンチョウの舞う美しい村」

鶴居村長 日野浦 正 志



○鶴居村の紹介

鶴居村は、北海道釧路支庁管内のほぼ中央に位置し、東は標茶町、北西は釧路市阿寒町と弟子屈町に隣接、南は釧路湿原国立公園を挟んで釧路市の北西部約40kmに位置しています。南部は釧路湿原を中心とする湿原・湿地帯、北部は丘陵地帯です。昭和12年に舌辛村（現釧路市阿寒町）から分村し、タンチョウの生息地であることから「鶴居村」と名付けられました。

基幹産業である酪農は、比較的規模が大きく環境に配慮した酪農経営が行われおり、全国的にも評価の高い生乳を生産しています。

【村の概要】

- ①面積：571.84平方キ。
- ②人口：2,588人（2008年10月末現在）
- ③世帯数：1,013世帯（2008年10月末現在）
- ④村 鳥：タンチョウ
- ⑤村 花：コスモス
- ⑥村 木：シラカバ
- ⑦村ホームページ

<http://www.vill.tsurui.lg.jp/>

○「日本で最も美しい村」連合に加盟！

鶴居村は、今年10月に「日本で最も美しい村」連合に正式に加盟しました。

この連合は、失ったら二度と取り戻せない、日本の農山漁村の景観や環境・文化を守る活動を行っており、小さくても輝くオンリーワンを持つ農山漁村が、自らの町や村に誇りをもって自立し、将来にわたって美しい地域であり続ける取り組みを支援しています。

村は、今回の加盟を契機に、本村を含む18町村や企業サポーター等と連携協力し、貴重な美しい地域資源を守り育てながら、地域経済の発展に寄与する様々な取り組みを村ぐるみで展開していきたいと考えています。



○施設などの紹介

■農畜産物加工施設「酪楽館」

昨年4月から、村内で生産される良質な生乳を原料としたチーズとソフトクリームの製造・販売を始めました。

同年11月には、第6回ALLJAPANナチュラルチーズコンテストにおいて、ナチュラルチーズ「鶴居」ゴールドラベル（ハード熟成6ヶ月未満）が最高賞である『農林水産大臣賞』を受賞しました。また、ナチュラルチーズ「鶴居」シルバーラベル（ハード熟成3ヶ月未満）も部門賞である『優秀賞』を受賞しています。

この施設は、乳製品の製造・販売のほかバターやチーズなどの乳製品、ソーセージ、ハムなどの肉製品、パンづくりを体験することができます。



■鶴居運動広場

約12haの広大な運動公園。中央にはボート遊びができる池をはじめ、テニスコート、パットゴルフ、ゴーカートなどの、遊具施設、野外バーベキューコーナーを備えています。隣接する「グリーンパークつるい」では温泉と食事を楽しめます。

今年からイベント「わくわく！むらびとバザール」が6月から8月までの間、月に一度開かれています。鶴居産チーズやとれたて野菜などの自慢の商品を販売するほか、羊の毛刈りを体験するコーナーもあります。国の天然記念物タンチョウについて理解を深めるブースもあります。ぜひ一度遊びに来てください。



■鶴居どさんこ牧場

鶴居どさんこ牧場は、北海道の日本在来馬「どさんこ」によるトレッキングの拠点として平成7年にオープンしました。

釧路湿原国立公園などを探勝する外乗りトレッキングは、初心者でも楽しむことができます。

また、ログハウス風な造りのセンターハウスは、宿泊施設として4室（16人収容）と、おみやげ・喫茶コーナーなど完備しており、どさんこを眺めながらのんびりした時間を過ごすことができます。

「どさんこファンクラブ」の会員も増えており、村外の方からも親しまれています。



■第2期下幌呂夢の杜団地・中幌呂分譲地

鶴居村では、村民の定住促進や移住者の受け入れのために宅地の分譲販売を行っています。

第2期下幌呂夢の杜団地は、釧路湿原国立公園が眼下に広がる自然環境豊かな場所で、釧路市や釧路空港から車で20分程の所にあります。同団地には、団地内道路の舗装や上下水道が完備され、遊歩道やレンガ貼りの公園もあります。

中幌呂分譲地は、自然環境豊かな場所で、釧路市や釧路空港から車で25分程の所にあります。希望者には、自家菜園用の畑を貸し出しています。

両分譲地には、村外から多くの方が移住しています。





「母なる川をふるさとに」むかわ町

むかわ町長 山口 憲 造



■むかわ町の紹介

むかわ町は、道央圏の南方に位置し、町の東西および北部の三方は日高山脈系に囲まれ、南方は太平洋に面しており、まちの中央を日高山脈トマム岳を源に135キロの長さを誇る、全国で屈指の清流が縦走しています。

一級河川鵒川は、町魚であるシシャモやサケが遡上する「豊漁の川」として知られていますが、古くから農業用水にも活用され、現在は、およそ4千ヘクタールの豊かな水田を支えています。

私たちの暮らしに、はかりしれない恩恵をもたらしてくれる母なる川、鵒川にはぐくまれたのが、鵒川町と穂別町です。明治45年に分村して以来、それぞれに個性と文化を培ってきましたが、94年の時を経て、平成18年3月27日に再びひとつのまちとして合併しました。

町の名前や行政区分が、時代によって変化しても、私たちのふるさとが、この「鵒川」であることに違いはなく、小さな川が合流しながら、いつしか雄大な大河となり、人々の暮らしを支えてくれるように、新しいむかわ町も、ひとつの流れを志向しながら、未来へと進んでいます。

■川・山・海と多彩な自然からの贈り物～むかわ町の特産品～



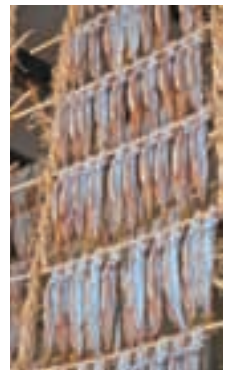
川・山・海と多彩な自然に恵まれたむかわ町には、おいしい特産品がたくさんあります。

地域ブランドに登録された、「鵒川ししゃも」や「ほべつメロン」を筆頭に、お米、アスパラ、長いも、レタス、切り花、和牛、ほっき、サケなど、海の幸から山の幸まで季節の味覚が多彩です。

また、特産物直売所「ほぼんた市場」では、これらの新鮮な特産品をたっぷりご用意し販売しております。

○鵒川ししゃも

北海道の太平洋側でしか獲れない日本固有種で10月中旬から11月中旬にかけて産卵のため群れをなして「鵒川」を遡ります。産地によって違いますが、ほかと比べ鵒川ししゃもは型が大きいのが特徴です。漁のシーズンは秋の風物詩となっています。2006年11月17日、地域団体商標に登録。



○ほべつメロン

日高山系・夕張山系の山々に囲まれ、その深い森から生まれる清らかな水と肥沃な土。生産農家は最適な土壌作りと有機栽培を基本に、厳密な品質管理で豊かな味わいのほべつメロンを作り出しました。また昼夜の寒暖差が大きいため、熟成を助け糖度が高く、甘くておいしいと評判です。5月下旬～7月下旬収穫。また、むかわ町で2つ目の地域団体商標として2007年11月16日に登録されました。



■むかわの見所・遊び所～むかわ町の観光スポット～

○穂別博物館・穂別地球体験館



約1億年前は深い海の底だった穂別。地区内で出土した化石をもとに、穂別地区の自然史を紹介しているのが穂別博物館です。クビナガリュウをはじめ、アンモナイトやティロサウルスなどの化石資料を豊富に展示しています。また穂別地球体験館では、迫力あるジオラマと映像で46億年前の地球の歴史をダイナミックに紹介。熱帯雨林、砂漠、氷河期など8つのテーマゾーンで、さまざまな自然環境を疑似体験できます。

○たんぼぼ公園



一級河川「鵠川」の河川敷地に広がるたんぼぼ群生地は全国市町村なんでも日本一（昭和62年旧建設省監修）で紹介されました。毎年5月下旬から6月は黄色いじゅうたんを敷き詰めたように咲き、白い綿毛が舞う様相は北の大地に初夏の訪れを知らせます。

このたんぼぼ公園をステージに、たんぼぼの開花時期に合わせて、「たんぼぼフェスティバル」が開催され、町内はもちろん町外からも大勢のお客さまにお越しいただいています。

○鵠川温泉「四季の湯」



強食塩泉の泉質で身体の芯から暖まることができサウナ、露天風呂を完備しています。道の駅

「むかわ四季の館」と宿泊施設「四季の風」を併設し、むかわ町の観光拠点となっています。

○ししゃもあれとびあ



北海道太平洋沿岸の限られた地域でしか獲れないうえ、年に1ヶ月ほどの短い漁期の本ししゃも。毎年ししゃもの旬の時期に併せ、ししゃもの炭焼きやししゃも汁など本場の「むかわ町のししゃも」が味わえるグルメイベントとして11月上旬に開催「あれとびあ」とは、ししゃも荒れ（ししゃもが川を遡上する初冬、この時期特有の季節風によって起こる時化のこと）と、ユートピア（ししゃもにとって良い環境＝理想郷）を掛け合わせた造語です。

■元気な高齢者



穂別地区の高齢者は実行力、創造性に富んでいます。60～80歳の高齢者の皆さんが中心にビデオ映画制作集団「たんぼぼdeミュージカル委員会」が平成14年に発足。「たんぼぼdeミュージカル」、「たんぼぼdeファッションショー」を制作。平成20年には3作目となる「いい爺いライダー」を制作。テレビや新聞でも紹介され『地域づくり総務大臣表彰』をはじめ数々の賞も受けております。

■むかわ町で暮らしませんか

道央圏の南に位置する「むかわ町」は、寒冷地である北海道の中でも、冬季の降雪量が少なく温暖な気候です。

道都「札幌市」や空の玄関「千歳市」海の玄関「苫小牧市」にも近く、田舎にありながら、都市部へ比較的容易に移動できる環境にあります。

また、子育て世代の方が安心して暮らせるよう、妊婦検診に係る費用や子どもの医療費への支援などを実施しています。

分離発注訪問記

今年もまた陳情活動に赴いて参りました。

分離発注の「陳情要請及び御礼」については、毎年継続して実施されており大切な活動の一つと考えています。

この活動は経営委員会が担当しており、我々分離発注担当のメンバーは末廣屋電機の中鉢さんをトップに北弘電社の矢田さん、東光電気の渡辺さん、関電工の堀内さんそして私北電力設備の三上で担当しています。

その中で私は堀内さんと一緒に札幌市を除く石狩支庁の5市1町1村を担当、矢田さんと渡辺さんが日高支庁、国兼支店長を中心とした末廣屋電機さんが空知支庁、その他の地区に付いてはそれぞれの地区協会の方々の協力を頂いて行っています。

昨年集計の分離発注の状況に付いては、全道180市町村の内177市町村が分離発注を行っている状況になっています。

訪問時期については、前任者の頃は1月～2月頃にかけて実施していたようですが、道路事情等も考慮して現在は10月～11月にかけて実施しています。

さて、出勤です。今回も、石狩市を皮切りに最終の千歳市までの行脚になります。

実際の活動に付いては継続して陳情活動を行って来ているので、覚えていてくれる方も多く「今

年も又、来ました」という感じで訪問していますし、相手の方も快く受けてくれるので非常に助かります。

そして、今回は会報に投稿するにあたり、当別町役場建設水道部の滝本部長に事情を説明したところ、写真撮影も含め快諾して頂き非常に感謝です。

改めて「ありがとうございました！」

逆に、人事異動等で初めての担当者に会う場合などは、相手の方も「何だろう？」って感じで、初訪問の営業活動のような感覚になり、初めて地方自治体の営業を担当した頃を思い出したりします。

訪問も順調に進み、午前中に江別市を終わり、次の訪問地、北広島市の某ラーメンチェーン店にて昼食、久々に食した麺の太さに改めて驚いた2人でした。

午後の訪問も順調に進み、最終の千歳市を終了したのは午後3時頃でした。

この活動は北海道だけでなく、親団体である(社)日本電設工業協会全体で全国的に実施している活動になります。今後も途切れることなく継続して行うことが非常に大切であると考えています。そして、最後に訪問を受けて頂いた皆様へ改めて「ありがとうございました」

記 北電力設備工事(株) 三上



当別町役場建設水道部の滝本部長（左）に手渡す

現場からこんにちは



工事名称：一般国道333号 佐呂間町
 新佐呂間トンネル外一連工事
 工事場所：常呂郡 佐呂間町
 工期：平成19年12月～平成21年3月
 発注者：北海道開発局 網走開発建設部
 《工事概要》
 工事区間：佐呂間町～北見市 (L=5.7km) うち
 佐呂間トンネル (L=4.11km)
 規格：3種2級 (60km/h)
 (照明設備工事)
 サンエス電気通信株式会社
 (通信設備工事)
 日本電設工業株式会社
 (非常警報設備工事)
 北弘電・エスケー経常建設共同企業体
 (高圧受変電設備工事)
 株式会社 明電舎

当工事は、平成13年10月4日の北陽岩盤崩壊災害箇所と同様な地質構造の切土法面を回避する延長5.7kmの防災事業です。地域の主要産業である農水産業の物流や、冬期間における釧路港から遠軽・紋別地区への石油製品等の生活物資等の輸送において重要な路線であることから、安全・確実な道路の早期整備を図るのが目的です。

現在の状況ですが、トンネル内のアスファルト

舗装が完了し、各社機器の設置及び上部のケーブル配線を行っております。今後、トンネル内の防災管路内の配線、機器接続の他、電気室内の機器設置、既存機器の改造等を行い、1月下旬の受電後、単体試験・総合試験を行ってまいります。

複数の業者が輻輳しての作業となっている為、業者間で連絡を密にして安全かつ品質の良い施工を心がけ工事を行っております。

供用開始まで気を抜かず無災害で工事を終えたいと思っております。



- | | | |
|---|---------------------|-------|
| ① | 株式会社明電舎 現場代理人兼監理技術者 | 林 伸行 |
| ② | 北弘電・エスケーJV 現場代理人 | 竹川 直宏 |
| ③ | 同上 監理技術者 | 幅田 啓司 |
| ④ | 日本電設工業(株) 監理技術者 | 山田 誠 |
| ⑤ | 同上 現場代理人 | 梅原 浩司 |
| ⑥ | サンエス電気通信(株) 監理技術者 | 有田 務 |
| ⑦ | 同上 現場代理人 | 磯部 剛 |

厚生委員会行事報告

ボウリング部会

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、新しい年をご健勝で迎えられたこととお慶び申し上げます。

ボウリングの歴史を紐解きますと、古代ギリシャの遺跡から木製のピンとボールが発掘された事からボウリングの起源は5千年以上も前だと言われています。日本に伝わったのは江戸時代1861年長崎の外国人居留地に最初のボウリングサロンができ、その後1952年に初めて民間のボウリング場が東京の青山にオープンしたそうです。

さて、当協会の今年最後を締めくくるボウリング大会が11月7日ディノスノルベサで23名の参加を頂き行われました。人間関係が希薄と言われる昨今、自分や仲間の投げるボールに歓喜し健闘をたたえあい、表彰式では更なる電気工事業界の発展を誓い、懇親を深めた次第です。老若男女を問わず誰でも楽しめるボウリング。今年も多数の参加をお待ちしています。

ボウリング部会幹事
嶋津 博（島津電設）記

平成20年度第2回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成20年9月26日開催

順位	氏名	1G	2G	1Gハンデ	トータル	会社名
優準	菊地 大	153	143	46	388	協信電気工業
1	吉岡 秀雄	147	152	43	385	弘和電気
2	渡会 宏樹	141	178	20	359	北海電気工事
3	伊藤 寿教	86	119	76	357	三共電気工業
4	鈴木 雅博	142	210	0	352	振興電気
5	滝沢 秀樹	143	119	39	340	滝沢電気設備
6	藤井 大樹	129	150	25	329	でんこう
7	最上 孝雄	123	127	39	328	北海電気工事
8	大塚 正久	133	160	14	321	北明電気工業
9	岡山 滋	119	122	36	313	協電社
10	森崎 亨一	119	155	19	312	北盛電設
	大塚 公仁子	77	114	58	307	拓北電業
	(ハイゲーム賞) 210ピン					鈴木 雅博 振興電気
	(大波賞) 68ピン					鈴木 雅博 振興電気
	(小波賞) 3ピン					岡山 滋 協電社
	(平和賞) 0ピン					福田 哲也 大成電気
	(ラッキー賞) 12位					三上 哲哉 北電力設備工事
	(ラッキー賞) 17位					尾形 武志 山口電気機械工務所
	(ブービー賞)					内川 勝哉 北弘電社
	(ブービーメーカー賞)					関場 憲明 安達電設



第2回優勝者 菊地さん

平成20年度第3回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成20年11月7日開催

順位	氏名	1G	2G	1Gハンデ	トータル	会社名
優準	内田 勝久	157	128	45	375	北海電気工事
1	十日市 樹	157	124	42	365	北弘電社
2	向平 義美	145	160	24	353	北弘電社
3	猪俣 貴則	182	159	0	341	末廣屋電機
4	大塚 公仁子	108	110	60	338	拓北電業
5	吉田 岳夫	173	141	12	338	北海電気工事
6	吉岡 秀雄	148	142	21	332	弘和電気
7	橋本 佳明	160	140	12	324	橋本電気工事
8	北片 稔弘	153	167	0	320	末廣屋電機
9	鈴木 雅博	176	141	0	317	振興電気
10	田中 裕司	153	163	0	316	末廣屋電機
	内川 勝哉	94	171	25	315	北弘電社
	(ハイゲーム賞) 182ピン					猪俣 貴則 末廣屋電機
	(大波賞) 77ピン					内川 勝哉 北弘電社
	(小波賞) 2ピン					大塚公仁子 拓北電業
	(ラッキー賞) 4位					吉田 岳夫 北海電気工事
	(ラッキー賞) 7位					北片 稔弘 末廣屋電機
	(ラッキー賞) 11位					尾形 武志 山口電気機械工務所
	(ラッキー賞) 18位					鈴木 暁彦 拓北電業
	(ブービー賞)					大塚 正久 北明電気工業
	(ブービーメーカー賞)					伊藤 寿教 三共電気工業



第3回優勝者 内田さん(右) 関場部会長(左)



歌唱部会



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年、前部会長の厚谷さんから会長を引き受けることと成りました(株)北弘電社の向平です。よろしくお願ひいたします。

部会スタッフや会員皆様のご協力を頂きながら、第3回まで部会を開く事が出来ました。ありがとうございました。第4回目は2月に行う予定です。ですのでよろしくお願い致します。昨年は、部会員の林常務（橋本電気工事）の突然の不幸があり、とても悲しい時期がありました。部会の中でも指折りの芸達者でしたので、どれだけ部会を盛り上げて頂いたか本当に残念に思います。

部会は年4回程度開催しております。会員数は40名を超えていますが、常時参加は20数名です。昨年より、女性二人の参加もあり、男臭かった部会にも華やかさが加わりました。歴史ある歌唱部会のメンバーの中には、プロ顔負けの歌唱力・芸達者な物真似・替え歌など多彩なパフォーマンス



があり、夕方5時からの2時間もアツと言う間に過ぎてしまうほど楽しい会です。会費は3500円程度で、食事は軽食程度ですが、お酒は何でもOKです。会員以外の方も、ぜひご参加して頂きたいと思っております。今後とも、楽しい会を継続するため努力して行きたいと思っておりますので、宜しくご協力お願い申し上げます。

歌唱部会長 向平 義美 (株)北弘電社)



ゴルフ部会



新年明けましておめでとうございます。

平素は当部会の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

昨年女子プロゴルフツアーでは、最終戦の「LPGAツアー選手権リコー杯」において、古閑美保プロが、まさかの逆転優勝で初の賞金女王に輝きました。私もテレビ観戦して居りましたが、奇跡の逆転劇に大変感動いたしました。また、女子ツアーに押されっぱなしで低迷しておりました男子プロツアーも、高校生プロの石川遼選手の出現により急速に活気を帯びて参りました。

「石川プロのような子供がいればいいなあ～」と、思っているお父さんは沢山いることと思います。

【昨年の優勝者ご紹介】



第1回 札幌国際CC
中上一民さん(サンテック)



第2回 札幌南CC
赤松博昭さん(石垣電材)



第3回 札幌エルムCC
深田 哲さん(トーエネック)



第4回 札幌スコットヒルGC
田村富生さん(石垣電材)

さて、私たち電業協会ツアーも、無事4回開催する事ができ、会員皆様方のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。しかし、最近の参加者人数を調査したところ残念ながら参加人数が減少しています。(参考までに)

平成17年178名、平成18年162名

平成19年154名、平成20年132名

今年も春先に、各社へ入会案内を送付いたしますので、是非とも入会していただきたいと思ます。

21年度も会員の皆様方と、より一層楽しいゴルフができますように、豊部会長を中心に幹事7名、一丸となって頑張りますのでよろしくお願いいたします。(ゴルフ部会幹事 坂本 桂一)

業界だより

○会員代表者等の変更

・サンエス電気通信(株)札幌支店

平成20年9月1日付

(新) 取締役札幌支店長 乾 好人 氏

(旧) 〃 高橋 昌宏 氏

・サンワコムシスエンジニアリング(株)北海道支店

平成20年10月1日付

(新) 北海道支店長 森 智嗣 氏

(旧) 〃 木ノ内武美 氏

○北海道電業協会ホームページ開設

平成20年11月1日

・アドレスコード

<http://www.dodengyo.jp>

北海道電業協会検索可能です。

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

以上概要を報告 (広島専務理事)

◇平成20年10月29日(水) 12:00~13:30

第4回議題

【協議事項】

1. 本部役員会等日程の変更について
2. 平成20年度経営者懇談会・セミナーの運営について
3. 会費見直しの検討について
4. 平成21年電気関係賀詞交歓会の開催について
以上提案どおり承認された

【報告事項】

5. 会員大会開催概要の報告について
6. 本部221回政策委員会開催概要について
7. 開発局営繕部との意見交換会開催概要について
8. 平成20年度分離発注の要請活動について
9. 平成20年度登録電気工事基幹技能者特例講習会について
10. 平成20年度安全パトロール実施計画について
11. 平成20年度技術講習会の開催について
12. 会員代表者等の変更について
13. 平成20年10月~11月行事予定
14. その他意見交換

◇平成20年12月8日(月) 16:30~17:30

場 所 京王プラザホテル札幌

第5回議題

【協議事項】

1. 会費低減に関する検討について
2. 平成20年度中間経理報告について
3. 「北海道赤レンガ建築賞」運営基金への協力依頼について
以上提案どおり承認された

【報告事項】

4. 本部222回政策委員会開催概要について
5. 本部政策委員会と防衛省との意見交換会議事録要旨について
6. 北海道の建築工事に係る研修会開催概要について
7. 協会ホームページの立ち上げについて
8. 平成20年度登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果について
9. 平成21年電気関係賀詞交歓会の開催について
10. 「平成20年会員調査」へのご協力について
11. 「現場共益費」の実情に関する調査について
12. 平成20年12月~21年1月行事予定について

13. その他意見交換
以上概要を報告（広島専務理事）

|| 三 役 会

◇平成20年10月6日(月) 12:00~13:30

第7回議題

1. 役員会の日程変更
(本部林会長来協日程等)
2. 本部理事会等開催概要
3. 会費見直しの検討
4. 開発局営繕部との意見交換会開催概要
5. 北海道の建築工事に係る合同研修会の開催
6. 平成20年度経営者懇談会・セミナーの開催
7. 平成21年度優秀施工者国土交通大臣顕彰候補者の推薦
8. 北海道建設業審議会委員の任命、解任
9. 平成20年度登録電気工事基幹技能者特例講習会
10. 平成20年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催
11. 平成20年度安全パトロール実施計画
12. 平成20年度技術講習会の開催要望
13. 電力活用札幌地区協議会「平成20年度施設見学会」開催
14. 平成20年10月~11月行事予定
15. その他意見交換

◇平成20年11月11日(火) 12:00~13:30

第8回議題

1. 本部政策委員会防衛省意見交換会概要
2. 平成20年度経営者懇談会・セミナーの運営
3. 経審点数見直しによる会費低減の検討
4. 北海道の建築工事に係る合同研修会の開催概要
5. 協会ホームページの立ち上げ
6. 平成20年度登録電気工事基幹技能者特例講習会開催
7. 平成21年電気関係賀詞交歓会の開催
8. 「電設技術」への年賀広告

9. 平成20年11月~12月行事予定
10. その他意見交換

◇平成20年12月8日(月) 15:30~16:30

場 所 京王プラザホテル札幌

第9回議題

1. 会費低減に関する検討
2. 平成20年度中間経理報告
3. 「北海道赤レンガ建築賞」運営基金への協力依頼
4. 本部222回政策委員会開催概要
5. 本部政策委員会と防衛省との意見交換会議事録要旨
6. 北海道の建築工事に係る研修会開催概要
7. 協会ホームページの立ち上げ
8. 20年度登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果
9. 平成21年電気関係賀詞交歓会の開催
10. 「平成20年会員調査」へのご協力
11. 「現場共益費」の実情に関する調査
12. 平成20年12月~21年1月行事予定
13. その他意見交換

|| 総務委員会

◇平成20年12月15日(月) 16:00~17:00

第3回議題

1. 会費低減に関する検討
2. 平成20年度中間経理報告
3. 「北海道赤レンガ建築賞」運営基金への協力依頼
4. 本部222回政策委員会開催概要
5. 本部政策委員会と防衛省との意見交換会議事録要旨
6. 北海道の建築工事に係る研修会開催概要
7. 協会ホームページの立ち上げ
8. 20年度登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果
9. 平成21年電気関係賀詞交歓会の開催
10. 「平成20年会員調査」へのご協力

11. 「現場共益費」の実情に関する調査
12. 平成20年12月～21年1月行事予定
13. その他意見交換

経営委員会

◇平成20年11月17日(月) 12:00～13:30

第4回議題 (議長:元永副委員長)

1. 第3回議事録(案)の承認
2. 本部政策委員会と防衛省との意見交換会概要
3. 電設協第222回政策委員会の開催概要
4. 平成20年度北海道の建築工事に係わる合同研修会開催概要
5. 平成20年度会員大会決議に
6. 電業協会ホームページの開設
7. 平成21年度電気関係賀詞交換会
8. その他意見交換

◇平成20年12月17日(水) 16:00～17:00

第5回議題 (議長:中鉢副委員長)

1. 第4回議事録(案)の承認
2. 電設協第223政策委員会の開催概要
3. 平成20年度経営者懇談会・セミナー
4. その他 意見交換

広報委員会

◇平成20年10月30日(木) 13:30～15:00

1. 会報冬号「新春特集」担当メンバーによる打ち合わせ
2. 会報「冬号」への編集日程

◇平成20年11月26日(水)12:00～14:00

1. 会報冬号「新春特集」担当メンバーによる編集作業

◇平成20年12月11日(木)15:00～17:00

第3回議題

1. 会報「春号」編集方針
2. 会報「冬号」校正

3. 新春特集
4. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成20年12月16日(火) 16:00～17:00

第3回議題

1. 実施報告
 - ・登録電気工事基幹技能者認定講習会
 - ・平成20年度道との建築工事に係わる研修会開催概要
 - ・平成20年度経営者懇談会開催概要
 - ・工事現場安全パトロール
2. 登録電気工事基幹技能者特別委員会の開催概要(工藤委員長)
3. 技術講習会の開催
4. 会員対象の現場見学会の開催
5. その他意見交換

事務局日誌

- 10月1日(水)・第2回技術安全委員会
 6日(月)・第7回三役会議
 8日(水)・電気設備学会支部設立10周年祝賀会
 山口副会長
 9日(木)・平成20年度会員大会(富山市)
 15日(水)・電力活用地区協議会施設見学会
 (PCB廃棄物処理施設)
 中野副会長他
 20日(月)・北海道の建築工事に係る研修会
 (4団体合同・電気会館)
 21日(火)・エナジートーク21
 (ガーデンパレスホテル)
 28日(火)・安全パトロール
 30日(木)・第4回理事会、常議員会
 11月1日(土)・登録電気工事基幹技能者認定講習会
 ～2日(日) (電気会館)
 10日(月)・第3回総務委員会
 11日(火)・第8回三役会議
 13日(木)・本部 林会長来協

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 14日(金)・本部政策委員会 (東京) | (京王プラザホテル) |
| 山口副会長 | 10日(水)・本部基幹技能者特別委員会 (東京) |
| 17日(月)・本部運営委員会 (東京) | 工藤技術安全委員長 |
| 吉川支部長 | 11日(木)・第3回広報委員会 |
| ・第4回経営委員会 | 12日(金)・本部政策委員会 (東京) |
| 11月18日(火)・経営者懇談会・セミナー | 山口副会長 |
| ・懇親会 | 15日(月)・第3回総務委員会 |
| (ホテルポールスター札幌) | 16日(火)・第3回技術安全委員会 |
| 19日(水)・合同安全パトロール | 17日(水)・本部運営委員会 (東京) |
| (小樽後志地区協と合同) | 吉川支部長 |
| 27日(木)・本部理事会 (東京) | ・第5回経営委員会 |
| 定例懇実施 吉川支部長他 | 25日(木)・会報冬号、発送・配布 |
| 12月8日(月)・第9回三役会議 | 26日(金)・御用納め |
| ・第5回理事会、常議員会 | |

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には新しい年を迎え、新たな希望に満ちている事と思います。

さて、この度は北海道開発局営繕部長 林 理様には公務多忙の中ご執筆を頂き、誠にありがとうございました。大変厳しい現況を見据えながらも、我々業界に対するお心配りを行間に感ずる次第であります。

我々、北海道で生活するものとしては、去年の“北海道洞爺湖サミット”の開催を期に“ECO”“省エネ”“排ガス規制”といった言葉が十字架のごとくのかかっております。ご挨拶の中にあつたようにストックマネジメント手法やファシリティーマネジメント手法を駆使し、無駄のない、諸施設の有効活用に我々業界も業態の変更を検討していかなければならない時代と思われまふ。これからまだまだ厳しい経済環境が続くことと推測されますが、官民挙げての努力で新たな歴史を作って行きたいものであります。

今後とも当協会に対するご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様方にとって今年がすばらしい年となりますことをご祈念申し上げまして編集後記とさせていただきます。

広報委員長 橋本 耕二



発行 平成21年1月
社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp